

核燃料サイクル理解促進フォーラム



北海道大学 1年 九鬼静香

目次

- ・ 参加理由
- ・ 施設を視察して印象に残ったこと
 1. 六ヶ所村 再処理工場他
 2. むつ市 リサイクル燃料備蓄センター
- ・ 意見交換会
- ・ 伝えたいこと

参加理由

- マスメディアで得られる情報による先入観なしに自分の目で見てみたいと思ったから。
- 実際に行って見聞きすることでもっと真剣に核燃料サイクルや原子力について考えることができるのではないかと思ったから。
- 自分の身近な人で端から原子力発電に反対している人に自分の見聞きしてきたことを伝えたいと思ったから。

4

施設を視察して印象に残ったこと①

六ヶ所村 再処理工場他

- ・ 部外者の立ち入り制限や内部にIAEAが常駐しているなど警備や管理が非常に厳重であったこと
- ・ 想像していたよりも施設の規模が大きかったこと
- ・ 思っていたよりも地元出身の社員の方が多かったこと

5

施設を視察して印象に残ったこと②

むつ市 リサイクル燃料備蓄センター

- 自然の力を利用して貯蔵管理する構造になっていたこと
- 放射線が直接外部に漏れることを防ぐために、通路を複雑（ジグザグ）にするなど、安全性を重視していること。

意見交換会①

- 最も疑問に思っていたことは、地元住民の方に核燃料サイクル施設に対する不安はないのかということでしたが、不安が全くないということはないがそもそも何事にも不安はつきものであるということや、事業者の日頃からの安全対策の取り組み姿勢、事業者の方との信頼関係等のお話を聞いて納得しました。
- 最初誘致に反対していた人も何度も説明会を行うことで、人の意見に影響されずに自分で判断して誘致を決断したということを知り、すごいと思いました。

意見交換会②

- ある一線は超えないように築かれている、住民の方々と企業の信頼関係には感銘を受けました。
「住民としての厳しい目もなければならぬので、そこだけは一線を超えないように気をつけている」
「不安はあります。その分を事業者にぶつけている」
- 意見交換会の中でむつ市の住民の方が強い口調で「早く事業を開始してほしい」とおっしゃった場面がありましたが、これも住民の方々と企業の良い信頼関係があるからこそ言えることなのだと思います。

感想・伝えたいこと

一概に原子力発電が良い、悪いと判断することはできないということに改めて感じました。

今回実際に施設を見学したことで紙面上やウェブ上では理解仕切れていなかった核燃料サイクルの仕組みを理解することができました。また、住民の方々のお話を伺ったことで原子力発電についてより深く考える機会を頂くことができました。

しかし、すべてを完全に理解できたとは言えません。

9

感想・伝えたいこと

そのために...

実際に現地に足を運び、施設を見学し、住民の方々の声を直接聞くことが大切だと思います。

そして、

感じたこと、思ったことを家族や友達に自分の言葉で伝えることによって自分の中で再度考え直すことができるのではないかと思います。